

第4回の委員意見にかかる状況について

反映:○

	分野	項目	発言要旨	指針反映
1	安心	子育て	・子どもが満足する視点が重要で、小さいこどもは家庭で過ごせるような、子どもの視点に立った施策が重要ではないか。 ・子どもの自尊意識を強めることが大切。	○
2			・子育てレーダーチャートの7番の指標「夫も妻も同じように子育てを行うことが『理想と答えた人』に対して、『実現できていると答えた人』の割合」について、夫と妻には、それぞれの役割分担があるので、「同じように」という表現を変えるべきではないか。	○
3		障がい者	・就労継続支援事業所には、A型(雇用型)とB型(非雇用型)とあるが、大分県はB型利用が多い。A型は雇用率に含まれるがB型は雇用率に含まれないため、A型を伸ばすような取組を行えば雇用率が上がるのではないか。	○
4			・社会福祉法人自らが、精神障がい者、知的障がい者を雇用するといった施策を推進したらどうか。	○
5		女性の活躍	・女性の活躍推進は、国の成長戦略にも記載されているように、非常に大切である。行政としてしっかりと取り組むべきではないか。	○
6		ユニバーサル社会	・「あったか・は一と駐車場」は、利用者の方から「このお店にはなぜ無いのか」といった声がかかるようにすれば、民間施設の協力が得やすいのではないか。	-
7	活力	エネルギー	・エコエネルギーについて、地熱・温泉熱発電の申請が増えており、温泉も限りがあるので、生活環境部と商工労働部が連携をして今の基準のままでいいのかが検討が必要ではないか。	○
8		商店街	・農業の担い手づくりはうまくいっているようだが、商店街の担い手づくりは課題が多い。	-
9			・防犯カメラの設置は、防犯上有効とされているが、設置には商店街の負担が生じる。体力のない商店街も多いので検討が必要ではないか。	○
10		景気・雇用	・景気・雇用対策の目標指標における達成度が高いが、県内の現状と一致していないと感じる。更なる対策が必要ではないか。	○

	分野	項目	発言要旨	指針反映
11	活力	地域活性化	・世界農業遺産の認定、芸術祭など地域の元気の源になる。地域活性化には、芸術文化やツーリズムとの連携も大切であり、地元住民との意見交換が重要ではないか。	○
12		海外戦略	・海外からの受入れだが、今年になって流れが変わってきており、中国や韓国だけでなく、ASEAN諸国から訪れる人が増えてきている。どんな国の人が来ようとも対応できる、こちらの受入れ体制をつくることが重要ではないか。	○
13		国際人材	・APU大学卒の中国人が1名おり、彼には、大分勤務をしてもらい、後輩を会社に入れるようにお願いしている。高校生の採用は、全て大分県内であり、大変良い人材なのでありがたい。 できるだけ、グローバルに活躍できる人材に育てたい。	○
14			・大分県の留学生が多く、受入れはうまくできていると思うが、現地で見えて感じるということが大切。アジアの国々などへ出向き、青少年らと交流する必要がある。NPOとも連携し、積極的に取組を行うべきではないか。	○
15	発展	教育	・教育関係について、目標値の設定が高いためか評価が低く出ているが、教育現場における、教員など関係者の意識がここ10年で変わってきているので、定性的な評価は上がってきていると感じている。学力・体力向上も良い方向に進んでいる。	○
16		青少年の育成	・若者の内向化が気になる。ネットなどの普及によるものか、子どもが人とふれあうことが少なくなってきた。修学旅行等で海外に行くことが増えているが、それで終わりになっており海外に対する熱い思いを維持させる事も大切ではないか。	○
17		NPO	・NPO法人の指標「NPOへの事業委託件数」が低くなっているが、NPOの法人数は多い。法人をつくるだけでなく、うまく活かすこと。施策で使うことが必要ではないか。	○